

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の侵入に注意!

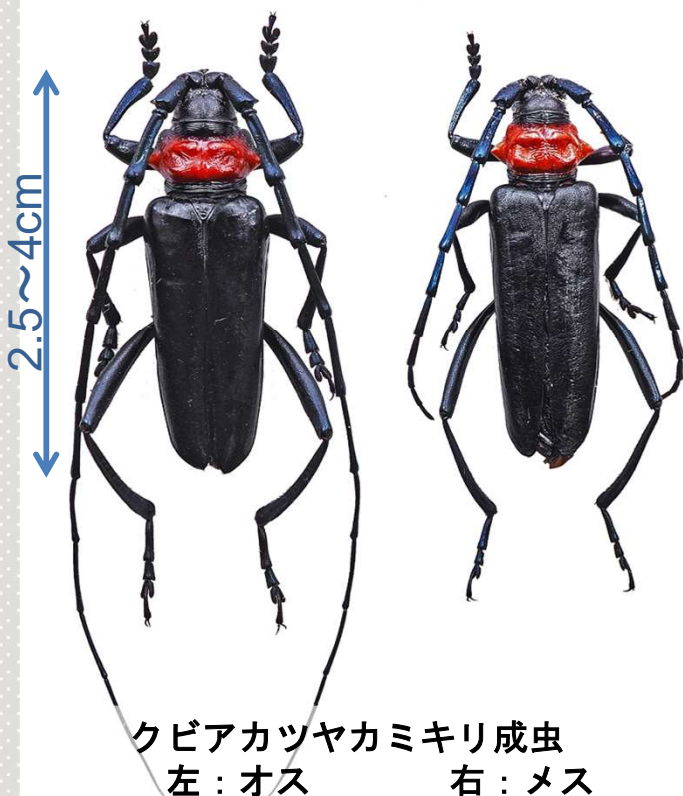
～発見時の情報提供をお願いします～

クビアカツヤカミキリは、サクラなどの街路樹、ウメ、モモ、スモモなどバラ科果樹の害虫で、幼虫が木を食べて枯死させてしまいます。

兵庫県内では令和4年6月に成虫がサクラで初めて確認され、令和5年7月には神戸市西区の果樹園で被害が確認されています。

被害を最小限に抑えるためには早期の発見・対策が必要です。
成虫または疑わしいフラス（幼虫のフン）を見かけたら、
「情報提供」をお願いします。

《注意が必要な樹種》サクラ、ウメ、モモ（ハナモモを含む）、スモモ等



クビアカツヤカミキリ成虫
左：オス 右：メス

成虫の特徴

- ・光沢のある黒色で胸が赤い
- ・体長は2.5～4 cm
- ・発生時期は6月～8月

フラス（幼虫のフン）



4～10月頃に木から出る
被害発見の目印になる

※ **生きたまま持ち運ぶことは法律で禁止されています。**
見つけたら必ずその場で捕殺し、裏面の連絡先へ情報提供をお願いします。

兵 庫 県

早期の発見にご協力ください

成虫は樹皮の隙間に産卵します。幼虫は樹皮と木質部の間を食べながら成長し、その間、木の表面に**フラス(幼虫のフン)**を排出します。卵から成虫になるまでの期間は2～3年です。幼虫は外から見えないため、**フラス**が重要な目印になります。

《早期発見・点検》

○クビアカツヤカミキリを早期発見できるように、成虫または幼虫の活動時期である4～10月に、頻繁に点検をお願いします。
右の写真を参考に点検して下さい。

《被害の特徴》

若齢期幼虫: そうめんやうどん状のつながったフラスを排出します。

老齢期幼虫: 木質部に侵入するので大量のフラスを排出します。

他のカミキリムシ類と比較して老齢期幼虫の出すフラスは、山のように積もるのが特徴。

《県内の発生状況》（R7.4現在）

R4年 明石市、神戸市北区、芦屋市

R5年 神戸市西区・灘区、西宮市

R6年 三田市

サクラ、ウメ、モモ、スモモ、アーモンドで発見され、年々被害地域が拡大しています。

どこで発生してもおかしくありません！！

情報提供にご協力ください

成虫や疑わしいフラスを見つけたら下記のQRコードから通報するか、農業改良課、病害虫防除所または最寄りの農業改良普及センターに連絡をお願いします。

連絡先

兵庫県農林水産部農業改良課

兵庫県病害虫防除所

電話: 078-341-7711 (内線74314)

電話: 0790-47-1222



目撃情報通報フォーム

